

# 静岡県月例経済報告

(平成28年12月号)

……平成28年10月を中心とした県内経済のすがた……

No. 488

—静岡県経済産業部—

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	4
・ 需要面 .....	4
・ 生産面 .....	13
・ 雇用面 .....	15
・ その他 .....	18
III 静岡県主要産業の動向 .....	22
IV データからみた県内主要産業 .....	25

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、平成28年10月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

## 概 況

平成28年10月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、弱さがみられる。

先行きについては、底堅い設備投資意欲などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、減少している。
- ・ 生産は、下げ止まりの兆しがみられる。

## 需 要 面

### ◎個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。

大型小売店販売額(10月)は、百貨店、スーパーいずれも3か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも、3か月連続で前年を下回った。

専門量販店等販売額(10月)は、ホームセンターが3か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が2か月連続、コンビニエンスストアが4か月連続、ドラッグストアが19か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(10月)は、乗用車が3か月連続で前年実績を上回ったものの、軽自動車が3か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総数でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

### ◎住宅建設は、前年を下回った。

分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家、貸家がいずれも4か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも4か月ぶりに前年実績を下回った。

### ◎公共投資は、前年を下回った。

公共工事請負金額(10月)は、3か月ぶりに前年実績を下回った。

### ◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成28年12月14日)の28年度設備投資計画は、製造業、非製造業ともに増加する計画となっており、全産業でも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(10月)は、4か月ぶりに前年実績を下回った。

## ◎輸出は、減少している。

### 輸入は、前年を下回った。

輸出総額（10月）は、自動車の部分品が2か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機、エアコンがいずれも2か月連続、自動車が2か月ぶり、二輪自動車類が5か月連続、科学光学機器が4か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額（10月）は、パルプや自動車の部分品などで前年実績を下回ったことから、全体でも11か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、870億円の輸出超過となった。

## 生産面

### ◎生産は、下げ止まりの兆しがみられる。

鉱工業生産指数（9月）は、電気機械が8か月連続、化学が2か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械、パルプ・紙・紙加工品、食料品・たばこがいずれも2か月ぶり、輸送機械が19か月連続で前年水準を下回ったことから、総合でも2か月ぶりに前年を下回った。また、2か月ぶりに前月を下回った。

なお、鉱工業在庫指数（9月）は、総合では19か月ぶりに前年水準を下回った。

## 雇用面

### ◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率（10月）は1.39倍で、前月を0.03ポイント上回り、33か月連続で1倍を上回った。また、6か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（10月）は、39か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（9月）は、前年を上回った。

## その他

### ◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高（10月）は、前年同月比2.1%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（10月）は、前年同月比14.2%減と前年実績を下回った。

### ◎企業倒産は、件数、負債総額いずれも前年を下回った。

企業倒産（11月）は、件数は19件で前年同月比20.8%減、負債総額は前年同月比61.8%減となり、いずれも前年実績を下回った。

<<県の取組>>

## 【 静岡県地域企業就職情報誌2018「静岡県のシゴト」を配布します 】

県は、2018年3月卒業予定の大学生や既卒3年以内の方などを対象に、静岡県地域企業就職情報誌 2018「静岡県のシゴト」を無料で配布しています。

本冊子には、2018年4月に新規採用を予定している県内企業355社の業務内容や、勤務地、採用実績、アピールする点、先輩社員の声、求める人物像など様々な情報が掲載されています。

また、本年度は、学生の関心も高いと考えられる入社後1年間の主な研修や行事を追記しました。

### 1 概要

2018年4月に新規採用を予定している県内企業355社の情報を掲載

サイズ A5判、384ページ

発行冊数 15,000冊



### 2 入手方法

#### (1) 直接入手する場合

県の就職相談窓口

「しずおかジョブステーション」「静岡U・Iターン就職サポートセンター」

「県庁雇用推進課」で入手できるほか、県や民間企業が開催する就職フェア等で配布  
各大学の就職担当課（キャリアセンター）等で入手可能（随時送付します）

#### (2) 郵送で入手する場合

返信用切手350円と送付先（住所・氏名）を記入した用紙（様式問わず）を同封の上、  
〒420-8601 静岡県経済産業部雇用推進課「地域企業就職情報誌」係 宛に郵送

### 3 問い合わせ先

静岡県経済産業部就業支援局雇用推進課 054-221-2825

## Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

10月 = 33,979百万円

\*前年同月比： 1.0%減

(県内3百貨店、131スーパー合計)

<概況>

10月の大型小売店販売額は33,979百万円で、前年同月比1.0%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 2.8%減）、スーパー（同 0.5%減）がいずれも3か月連続で前年実績を下回ったことから、総合でも3か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、飲食料品（前年同月比 0.1%増）が3か月ぶりに前年実績を上回ったものの、衣料品（同 2.1%減）、身の回り品（同 6.8%減）がいずれも3か月連続、家庭用品（同 6.8%減）が8か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.9%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
販売額（百万円）	34,394	32,936	34,074	33,329	35,711	33,931	31,351	33,979
前年同月比（%）	0.5	1.0	▲ 1.1	0.0	0.7	▲ 2.7	▲ 3.5	▲ 1.0
うち 百貨店（%）	▲ 1.4	▲ 2.5	▲ 5.1	▲ 3.4	1.1	▲ 4.9	▲ 5.2	▲ 2.8
スーパー（%）	1.1	1.9	▲ 0.1	0.9	0.5	▲ 2.3	▲ 3.1	▲ 0.5
（参考1）全国前年同月比（%）	▲ 1.2	▲ 0.7	▲ 2.2	▲ 1.5	0.6	▲ 3.6	▲ 3.2	▲ 1.0
うち 百貨店（%）	▲ 2.8	▲ 3.6	▲ 4.8	▲ 3.6	▲ 0.2	▲ 6.0	▲ 5.0	▲ 4.0
スーパー（%）	▲ 0.3	0.8	▲ 0.8	▲ 0.3	1.1	▲ 2.6	▲ 2.3	0.6
（参考2）県前年同月比（店舗数調整前）	0.5	0.1	▲ 1.3	0.3	0.9	▲ 2.9	▲ 3.2	▲ 0.9

（注）販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

（単位：%）

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
衣 料 品	▲ 2.8	1.8	▲ 4.9	1.6	0.9	▲ 6.3	▲ 5.4	▲ 2.1
うち 紳士服・洋品	1.5	4.5	2.7	6.2	4.1	▲ 2.6	▲ 4.5	0.5
婦人・子供服・洋品	▲ 4.7	0.9	▲ 7.5	▲ 0.5	0.7	▲ 7.4	▲ 5.3	▲ 2.5
身の回り品	▲ 3.6	▲ 4.9	▲ 5.7	▲ 2.3	1.3	▲ 4.9	▲ 10.9	▲ 6.8
飲 食 料 品	1.8	1.7	▲ 0.3	▲ 0.1	0.6	▲ 1.2	▲ 2.3	0.1
家 庭 用 品	▲ 5.7	▲ 11.2	▲ 3.8	▲ 4.6	▲ 2.4	▲ 6.7	▲ 6.0	▲ 6.8
うち家庭用電気機械器具	▲ 8.2	▲ 1.4	2.1	7.1	▲ 2.4	▲ 13.1	▲ 4.7	9.6

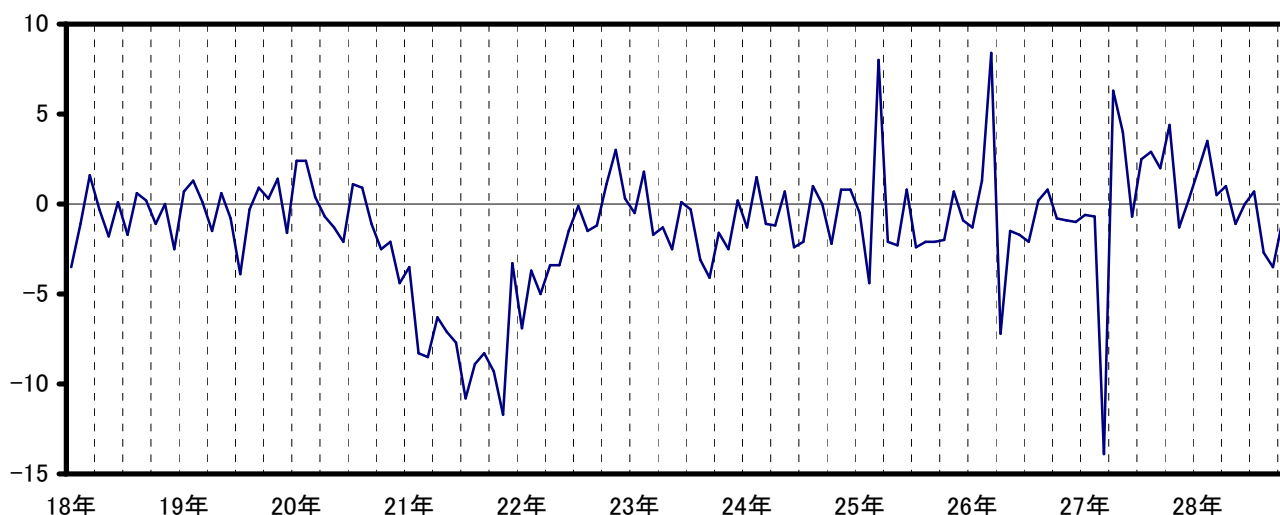
（注）店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省



## (2) 百貨店販売額

10月 = 6,194百万円

\*前年同月比： 2.7%減

(県内3百貨店販売額)

### <概況>

10月の県内3百貨店の販売額は6,194百万円で、前年同月比 2.7%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

品目別にみると、雑貨（前年同月比 8.4%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 5.2%減）が12か月連続、身の回り品（同 1.8%減）、家庭用品（同 17.1%減）がいずれも3か月連続、食料品（同 1.6%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
販売額（百万円）	6,827	5,726	5,788	5,860	7,052	5,008	5,074	6,194
前年同月比（%）	▲ 2.6	▲ 2.5	▲ 5.1	▲ 3.4	1.1	▲ 5.8	▲ 5.3	▲ 2.7
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 2.9	▲ 3.8	▲ 5.1	▲ 3.5	▲ 0.1	▲ 6.0	▲ 5.0	▲ 3.9

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

### <品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

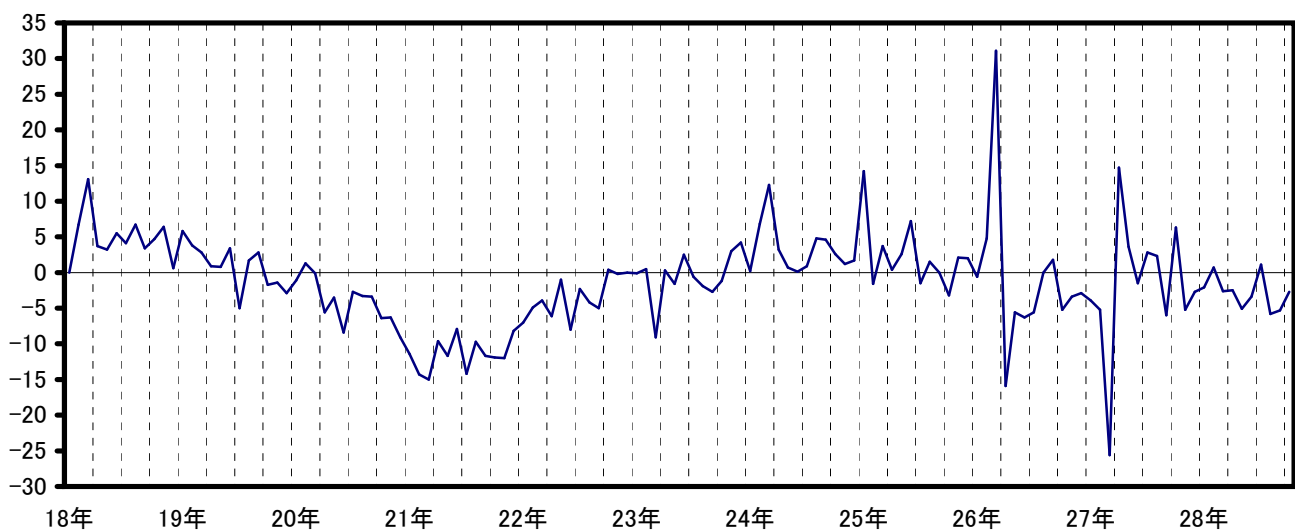
	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
衣料品	▲ 7.9	▲ 5.4	▲ 12.2	▲ 5.3	▲ 1.6	▲ 12.5	▲ 8.4	▲ 5.2
うち紳士服・洋品	▲ 5.9	▲ 7.8	▲ 8.2	▲ 10.3	▲ 5.7	▲ 23.0	▲ 9.7	▲ 6.3
婦人服・洋品	▲ 9.1	▲ 5.8	▲ 12.9	▲ 2.6	0.3	▲ 10.2	▲ 7.8	▲ 4.3
子供服・洋品	▲ 10.4	6.3	▲ 11.2	▲ 17.3	▲ 8.2	▲ 15.4	▲ 18.3	▲ 7.1
身の回り品	▲ 3.5	▲ 2.8	▲ 4.9	▲ 1.0	5.4	▲ 4.2	▲ 4.6	▲ 1.8
家庭用品	1.1	▲ 28.4	▲ 3.1	▲ 15.6	9.3	▲ 1.9	▲ 2.1	▲ 17.1
食料品	1.5	2.7	▲ 4.2	▲ 3.2	▲ 2.1	2.5	▲ 4.9	▲ 1.6
雑貨	4.4	10.1	11.4	5.2	8.4	▲ 4.5	0.3	8.4
うち美術・宝飾・貴金属	0.0	0.3	2.6	▲ 7.1	▲ 11.0	▲ 21.4	▲ 16.0	4.9

(注)店舗数調整済

### <過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



### (3) 専門量販店等販売額

10月 = 64,309百万円

\*前年同月比： 2.7%増

(県内89家電大型専門店、1,754コンビニエンスストア、440ドラッグストア、101ホームセンター合計)

#### <概況>

10月の専門量販店等販売額は64,309百万円で、前年同月比2.7%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、ホームセンター（前年同月比 0.2%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 4.3%増）が2か月連続、コンビニエンスストア（同 3.7%増）が4か月連続、ドラッグストア（同 2.0%増）が19か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
販売額（百万円）	36,581	34,569	36,059	35,269	72,320	69,029	61,540	64,309
前年同月比（%）	0.6	5.2	0.2	3.4	4.1	▲ 0.4	2.2	2.7
うち 家電大型専門店（%）	▲ 5.5	0.5	▲ 1.3	7.1	0.1	▲ 11.7	2.5	4.3
コンビニエンスストア（%）	—	—	—	—	3.8	1.3	3.2	3.7
ドラッグストア（%）	5.2	8.3	2.8	3.9	5.6	3.5	3.1	2.0
ホームセンター（%）	▲ 1.8	3.1	▲ 3.7	▲ 1.0	6.7	▲ 2.5	▲ 3.8	▲ 0.2
(参考)全国前年同月比（%）	0.6	4.6	0.5	3.1	3.8	0.0	2.3	3.3

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

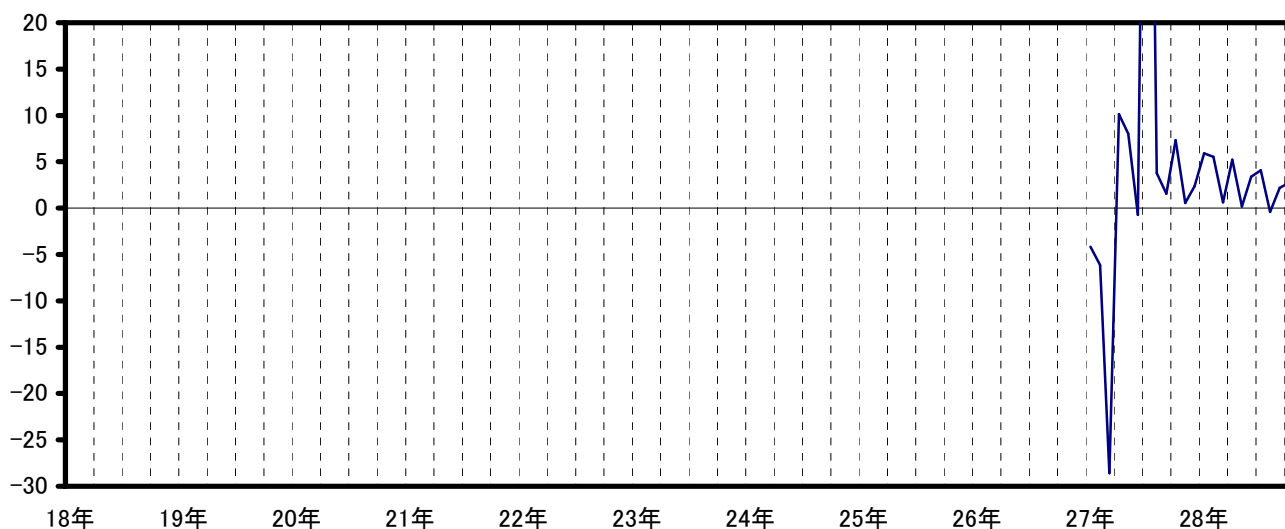
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

#### <過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省





#### (4) 自動車(新車)新規登録台数

10月 = 12,513台

\*前年同月比： 2.8%減

(乗用車、軽自動車合計)

##### <概況>

10月の自動車(新車)新規登録台数は12,513台(前年同月比 2.8%減)となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(同 0.2%増)が3か月連続で前年実績を上回ったものの、軽自動車(同 6.6%減)が3か月ぶりに前年実績を下回った。

##### <最近の動き>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
登録台数(台)	22,040	10,428	11,198	14,201	13,630	11,137	16,342	12,513
前年同月比(%)	▲ 8.4	0.5	▲ 2.0	▲ 3.5	▲ 4.1	2.3	2.8	▲ 2.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 9.3	2.2	▲ 1.4	▲ 5.6	▲ 2.2	2.9	▲ 0.7	▲ 0.1

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

##### <車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

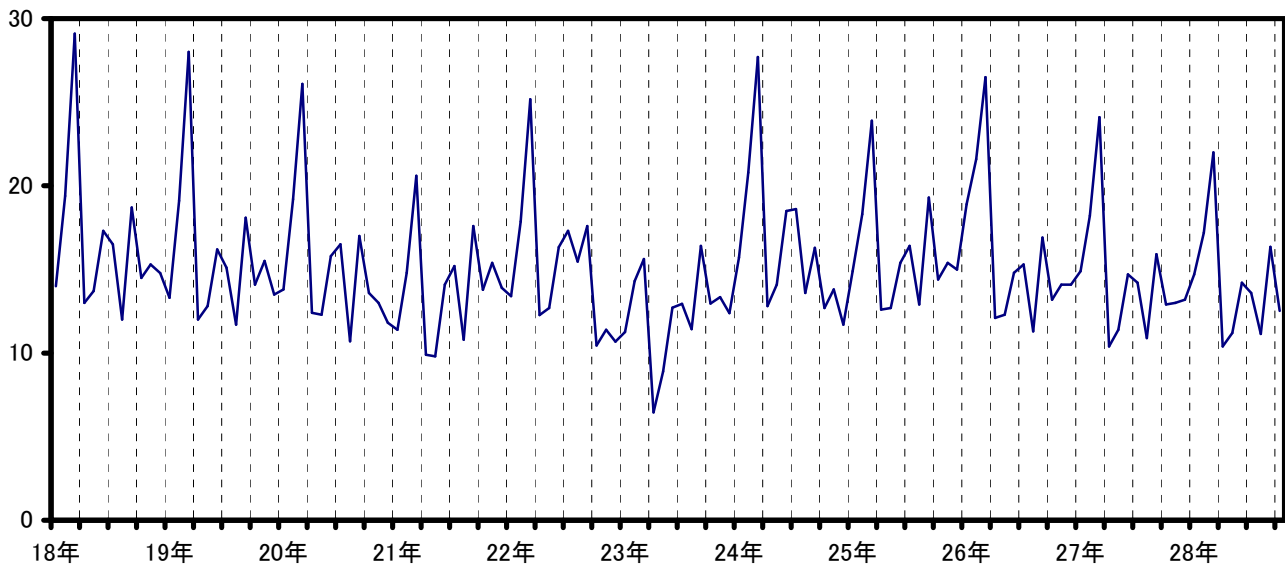
	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全乗用車	▲ 8.4	0.5	▲ 2.0	▲ 3.5	▲ 4.1	2.3	2.8	▲ 2.8
乗用車	▲ 1.0	11.6	6.6	5.5	▲ 1.1	3.3	3.8	0.2
軽自動車	▲ 16.1	▲ 11.5	▲ 12.2	▲ 14.3	▲ 8.0	1.0	1.7	▲ 6.6

<資料>県税務課

##### <過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

## 2 新設住宅着工戸数

10月 = 2,084戸

\*前年同月比： 1.4%減

### <概況>

10月の新設住宅着工戸数は2,084戸で、前年同月比 1.4%減となり、4か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 48.3%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家（同 3.9%減）、貸家（同 14.4%減）がいずれも4か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

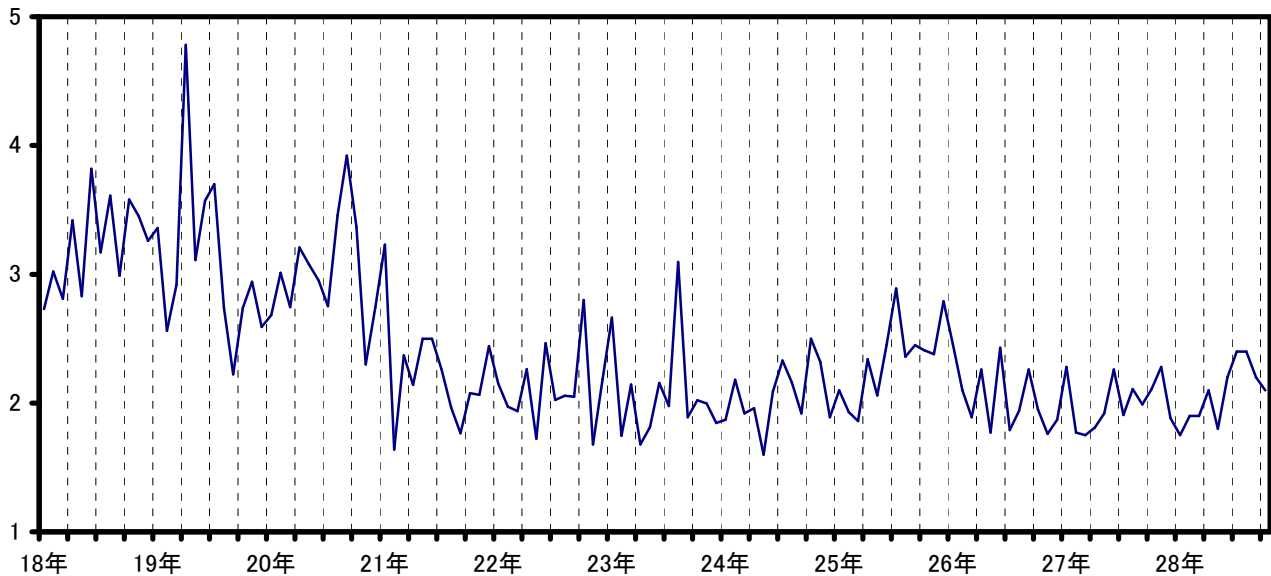
	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
戸数（戸）	1,885	2,096	1,817	2,195	2,356	2,405	2,179	2,084
前年同月比（%）	7.7	16.1	▲ 5.1	▲ 2.7	23.5	14.3	9.7	▲ 1.4
うち持家（%）	2.0	▲ 9.4	▲ 0.3	▲ 12.5	13.9	7.4	6.0	▲ 3.9
貸家（%）	9.9	33.8	21.7	▲ 6.5	28.3	10.9	63.3	▲ 14.4
分譲住宅（%）	33.0	90.6	▲ 44.0	24.4	53.0	50.4	▲ 43.9	48.3
(参考)全国前年同月比（%）	8.4	9.0	9.8	▲ 2.5	8.9	2.5	10.0	13.7

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



### 3 公共工事請負金額

10月 = 19,292百万円

\*前年同月比：40.0%減

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

10月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は19,292百万円で、前年同月比40.0%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は657件で、前年同月比30.1%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
金額(百万円)	15,013	50,393	19,103	22,745	28,013	29,515	50,377	19,292
前年同月比(%)	▲0.7	28.7	▲19.8	▲5.4	▲7.1	14.8	47.9	▲40.0
年度累計前年同月比(%)	▲4.4	28.7	10.3	6.0	2.6	4.8	13.1	4.9
件数(件)	167	478	393	631	818	885	1,445	657
前年同月比(%)	▲8.7	3.7	8.3	5.9	▲5.1	11.7	27.4	▲30.1
年度累計前年同月比(%)	▲3.6	3.7	5.7	5.8	1.7	4.3	10.5	3.1

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

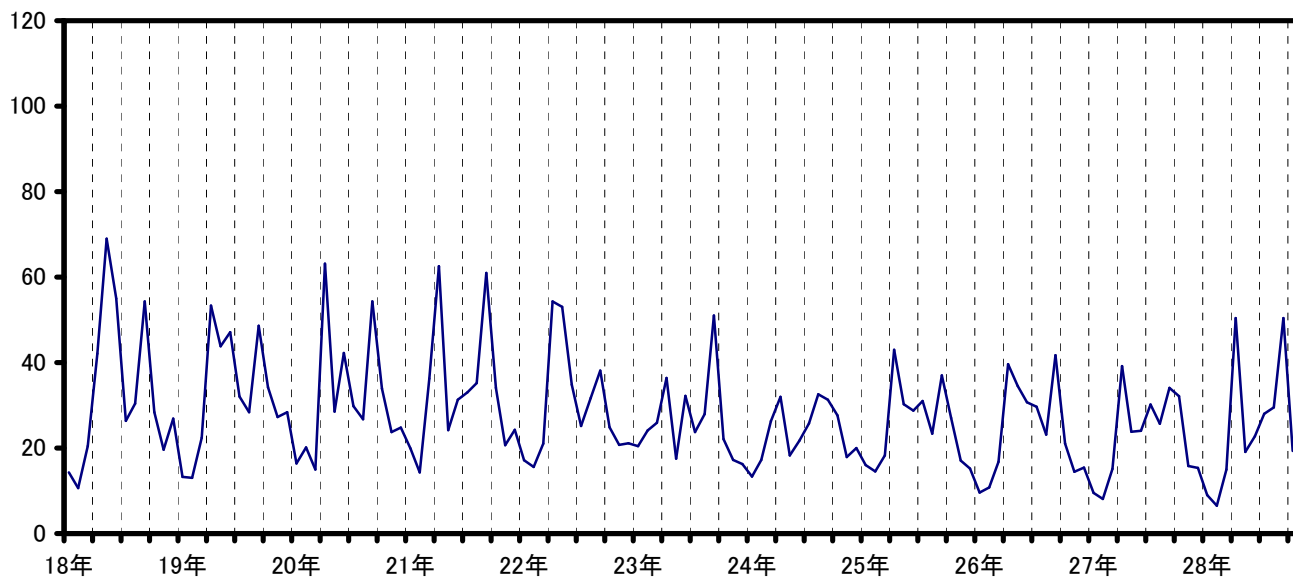
	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
国	▲19.5	84.8	4.4	▲64.0	▲47.0	121.1	162.8	▲55.6
独立行政法人等	1,900.6	103.0	▲17.8	40.3	210.7	▲98.3	578.0	▲37.1
県	▲46.5	15.7	▲27.1	▲3.0	▲30.4	44.7	20.0	1.9
市町	▲17.6	▲15.0	▲32.5	10.0	10.8	0.0	41.9	▲42.0
地方公社	—	—	9,445.5	—	—	▲41.9	▲43.5	292.5
その他	90.3	98.8	▲20.0	0.8	▲16.6	11.3	▲63.5	▲93.3

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

平成27年度の設備投資（実績）は、製造業（前年度比 17.1%増）、非製造業（同 1.8%増）ともに増加したことから、全産業（同 9.6%増）でも増加となった。  
 平成28年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 8.4%増）、非製造業（同 0.7%増）ともに増加、全産業（同 4.9%増）でも増加する計画となっている。  
 10月の着工建築物床面積（非居住用）は77,988㎡で、前年同月比 45.6%減となり、4か月ぶりに前年実績を下回った。

### <企業短期経済観測調査結果>

（前年度比% （ ）内は前回調査比修正率）

		27年度 (実績)	28年度		28年度 (計画)	28年度	
			上期 (実績)	下期 (実績)		上期 (実績)	下期 (計画)
全産業	県	9.6	13.4	6.5	(▲1.8) 4.9	(▲2.1) 1.9	(▲1.5) 7.4
	全国	5.0	4.2	5.6	(0.2) 1.8	(▲5.4) 2.5	(4.9) 1.3
製造業	県	17.1	22.7	13.2	(▲4.7) 8.4	(▲7.8) ▲0.5	(▲2.7) 15.0
	全国	9.1	7.1	10.7	(▲0.5) 5.6	(▲8.1) 4.6	(6.0) 6.3
非製造業	県	1.8	5.3	▲1.3	(2.3) 0.7	(4.1) 4.3	(0.4) ▲2.9
	全国	2.9	2.7	3.1	(0.6) ▲0.1	(▲3.8) 1.5	(4.3) ▲1.3

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成28年12月調査)」  
 日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成28年12月調査)」

### <最近の動き>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	154,306	89,979	67,384	99,402	108,356	186,104	171,169	77,988
前年同月比（%）	151.3	▲14.4	▲32.6	▲25.2	10.6	105.9	35.1	▲45.6
(参考) 全国前年同月比（%）	12.7	▲22.0	19.0	4.2	▲19.1	16.7	10.8	▲3.7

(注) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

	28年9月	28年12月	29年3月 (予測)
全産業	1	8	0
製造業	0	7	4
非製造業	3	10	▲4
(参考) 全国・全産業	5	7	2

(注) 業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成28年12月調査)」

## 5 輸出

10月 = 157,569百万円

\*前年同月比： 8.6%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

10月の清水税関支署管内の輸出総額は157,569百万円で、前年同月比 8.6%減となり、8か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、自動車の部分品（前年同月比 1.3%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 11.6%減）、エアコン（同 11.1%減）がいずれも2か月連続、自動車（同 17.1%減）が2か月ぶり、二輪自動車類（同 3.3%減）が5か月連続、科学光学機器（同 14.6%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、EU向け（前年同月比 0.1%増）が4か月連続で前年実績を上回ったものの、アジア向け（同 5.6%減）が3か月ぶり、米国向け（同 6.4%減）が7か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
輸出総額(百万円)	179,315	167,022	139,497	156,025	160,716	145,084	164,289	157,569
前年同月比(%)	▲1.7	▲3.1	▲4.8	▲7.7	▲11.7	▲8.9	▲3.0	▲8.6

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
原動機	27.9	5.3	▲1.5	▲1.6	▲1.2	2.7	▲5.5	▲11.6
エアコン	▲19.1	▲1.9	▲4.1	▲6.7	20.5	28.9	▲11.9	▲11.1
自動車	▲19.8	▲9.5	▲34.3	▲1.2	▲38.7	▲41.0	87.9	▲17.1
自動車の部分品	▲4.8	▲12.9	▲2.9	▲9.3	▲8.7	▲2.8	11.2	1.3
二輪自動車類	▲2.7	14.1	14.2	▲11.1	▲9.2	▲27.0	▲29.3	▲3.3
科学光学機器	45.3	6.5	▲8.0	10.0	▲24.6	▲12.2	▲10.4	▲14.6

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
アジア	▲4.5	▲4.1	▲4.6	▲2.1	▲13.7	1.0	4.7	▲5.6
米国	5.9	▲5.6	▲14.7	▲7.1	▲5.4	▲14.7	▲7.0	▲6.4
EU	12.1	18.1	27.4	▲7.6	4.0	1.7	0.3	0.1

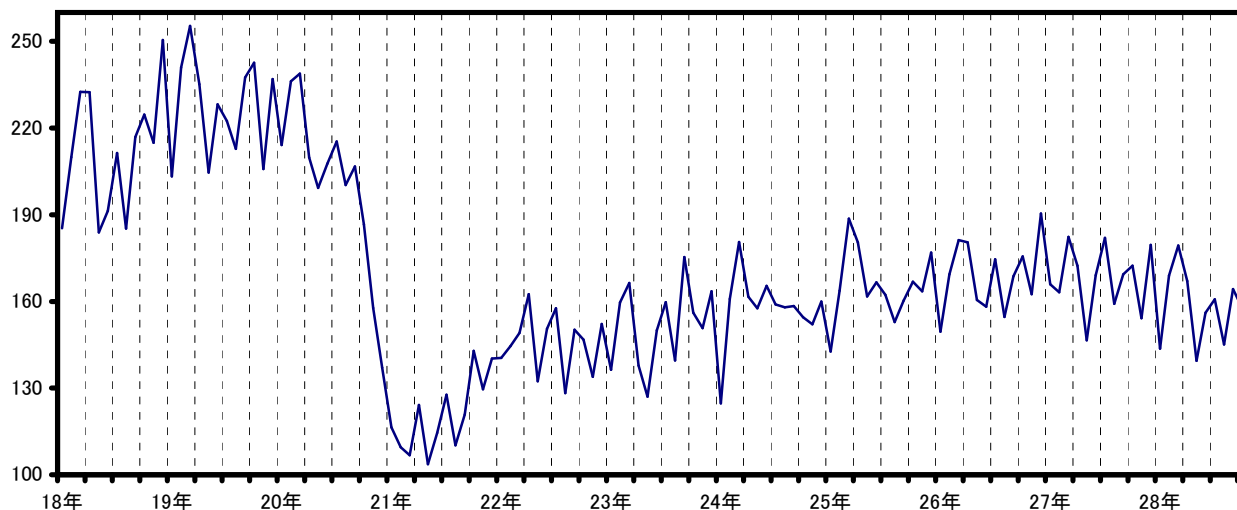
<資料>清水税関支署

(注)管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



## 6 輸入

10月 = 70,556百万円

\*前年同月比： 17.0%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

10月の清水税関支署管内の輸入総額は70,556百万円で、前年同月比 17.0%減となり、11か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、魚介類（前年同月比 8.9%減）が5か月連続、木材（同 13.1%減）、パルプ（同 27.8%減）がいずれも10か月連続、紙類及び同製品（同 6.7%減）が3か月ぶり、原動機（同 6.4%減）が6か月ぶり、自動車の部分品（同 28.5%減）が9か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（前年同月比 19.6%減）が2か月連続、米国から（同 16.6%減）が8か月連続、EUから（同 1.7%減）が10か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
輸入総額(百万円)	77,666	70,712	78,990	70,881	67,656	75,303	73,487	70,556
前年同月比(%)	▲ 11.0	▲ 21.6	▲ 0.7	▲ 13.3	▲ 21.5	▲ 4.5	▲ 9.8	▲ 17.0

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
魚 介 類	10.0	▲ 6.9	13.5	▲ 13.8	▲ 0.2	▲ 6.5	▲ 14.4	▲ 8.9
木 材	▲ 10.1	▲ 34.4	▲ 10.7	▲ 15.0	▲ 19.8	▲ 8.3	▲ 7.5	▲ 13.1
パ ル プ	▲ 29.7	▲ 29.6	▲ 9.0	▲ 27.5	▲ 45.8	▲ 23.9	▲ 13.3	▲ 27.8
紙 類 及 び 同 製 品	42.7	▲ 6.7	▲ 1.2	24.8	▲ 3.9	1.1	30.2	▲ 6.7
原 動 機	99.8	▲ 55.3	39.9	53.7	45.7	169.5	13.1	▲ 6.4
自 動 車 の 部 分 品	▲ 36.2	▲ 42.7	▲ 37.7	▲ 26.3	▲ 42.5	▲ 0.3	▲ 1.7	▲ 28.5

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

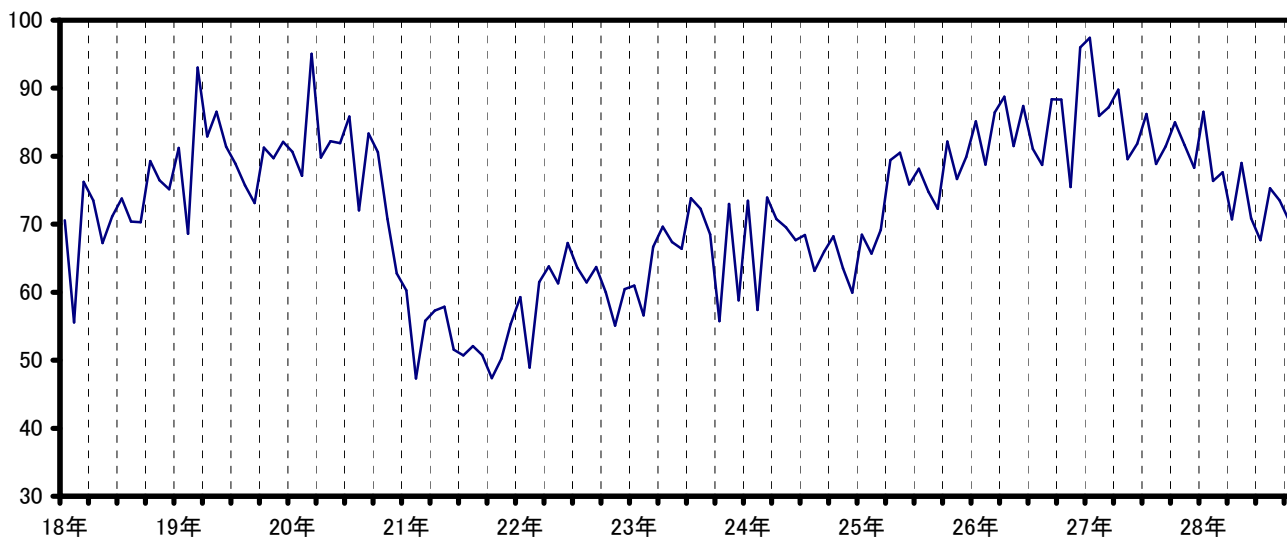
	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
ア ジ ア	5.9	▲ 11.3	1.2	▲ 10.5	▲ 16.8	0.2	▲ 8.7	▲ 19.6
米 国	▲ 10.1	▲ 18.1	▲ 14.9	▲ 10.0	▲ 25.9	▲ 9.4	▲ 22.6	▲ 16.6
E U	▲ 20.4	▲ 35.4	▲ 19.6	▲ 23.1	▲ 7.8	▲ 4.4	▲ 31.7	▲ 1.7

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



# 生産面

## 1 生産

### (1) 鉱工業生産指数

9月 = 89.7

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 0.3%減

\*前年同月比(原指数) : 1.2%減

#### <概況>

9月の鉱工業生産指数(総合)は89.7(季節調整済指数)で、前月比0.3%減となり、2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は1.2%減と2か月ぶりに前年を下回った。業種別にみると、電気機械(前年同月比2.2%増)が8か月連続、化学(同6.4%増)が2か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同4.1%減)、パルプ・紙・紙加工品(同3.0%減)、食料品・たばこ(同1.2%減)がいずれも2か月ぶり、輸送機械(同7.3%減)が19か月連続で前年水準を下回った。

#### <最近の動き>

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指数	89.0	89.3	93.0	86.8	88.8	88.3	90.0	89.7
前月比(%)	▲2.5	0.3	4.1	▲6.7	2.3	▲0.6	1.9	▲0.3
前年同月比(%)	▲3.6	▲4.7	▲1.6	▲0.4	▲4.1	▲5.4	4.5	▲1.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.5	▲5.2	▲3.5	▲0.1	▲1.9	▲3.8	4.6	0.9

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲13.5	▲3.3	▲0.5	▲3.4	3.1	▲4.6	11.5	▲4.1
電気機械工業	4.9	12.8	2.8	7.5	7.1	2.5	15.9	2.2
輸送機械工業	▲20.9	▲30.6	▲11.7	▲8.9	▲15.1	▲11.9	▲4.0	▲7.3
化学工業	32.2	41.5	16.7	17.3	5.8	▲4.8	8.7	6.4
パルプ・紙・紙加工品工業	1.4	▲2.6	▲2.1	▲0.4	▲4.3	▲3.2	6.7	▲3.0
食料品・たばこ工業	▲0.3	▲2.8	▲3.6	▲3.9	▲10.6	▲4.9	1.3	▲1.2

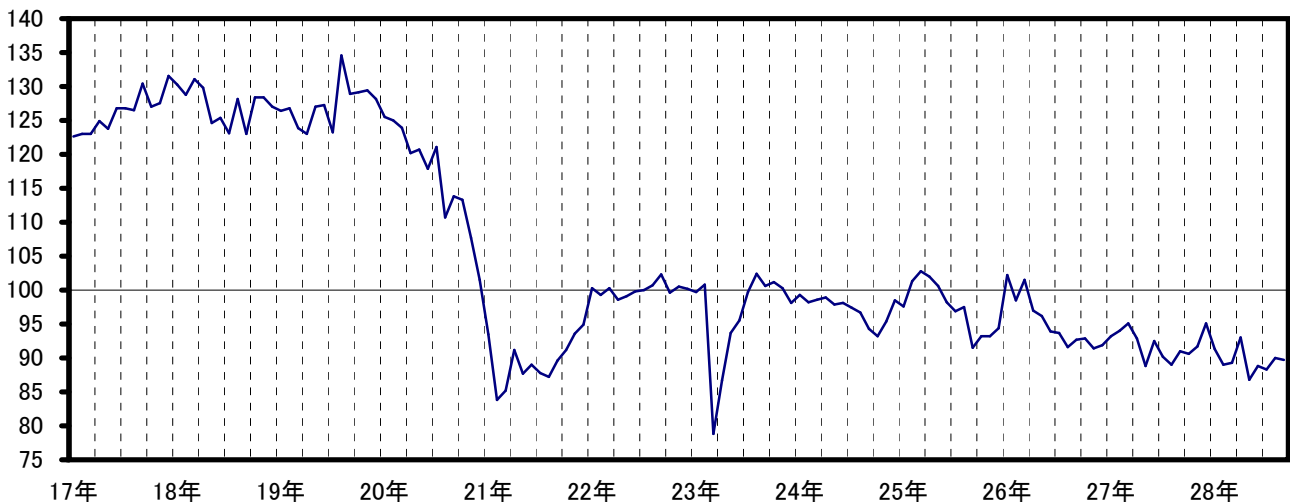
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



## (2) 鋳工業在庫指数

9月 = 115.7

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 3.0%減

\*前年同月比(原指数) : 2.0%減

### <概況>

9月の鋳工業在庫指数(総合)は115.7(季節調整済指数)で、前月比は3.0%減と2か月連続して低下した。また、前年同月比(原指数)は2.0%減と19か月ぶりに前年を下回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比6.6%増)が6か月連続、食料品・たばこ(同0.4%増)が7か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械(同8.5%減)が33か月ぶり、輸送機械(同34.2%減)が6か月連続、化学(同1.6%減)が14か月ぶりに前年水準を下回った。パルプ・紙・紙加工品は前年と同水準となった。

### <最近の動き>

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指数	125.0	125.9	121.9	118.2	116.4	119.5	119.3	115.7
前月比(%)	2.8	0.7	▲3.2	▲3.0	▲1.5	2.7	▲0.2	▲3.0
前年同月比(%)	19.0	12.3	9.1	6.0	0.0	4.1	2.1	▲2.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.9	▲0.2	0.1	0.6	0.0	▲1.8	▲1.8	▲2.0

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲3.0	▲8.5	2.6	2.4	0.4	6.0	0.8	6.6
電気機械工業	23.1	24.8	16.7	14.6	25.5	26.9	21.3	▲8.5
輸送機械工業	69.1	41.3	▲0.4	▲10.1	▲24.9	▲11.8	▲19.6	▲34.2
化学工業	17.3	14.1	13.6	4.2	1.3	3.5	0.1	▲1.6
パルプ・紙・紙加工品工業	10.0	6.0	1.9	1.8	▲4.2	▲3.1	1.5	0.0
食料品・たばこ工業	7.6	▲3.4	▲14.1	▲9.5	▲12.0	▲2.8	▲9.0	0.4

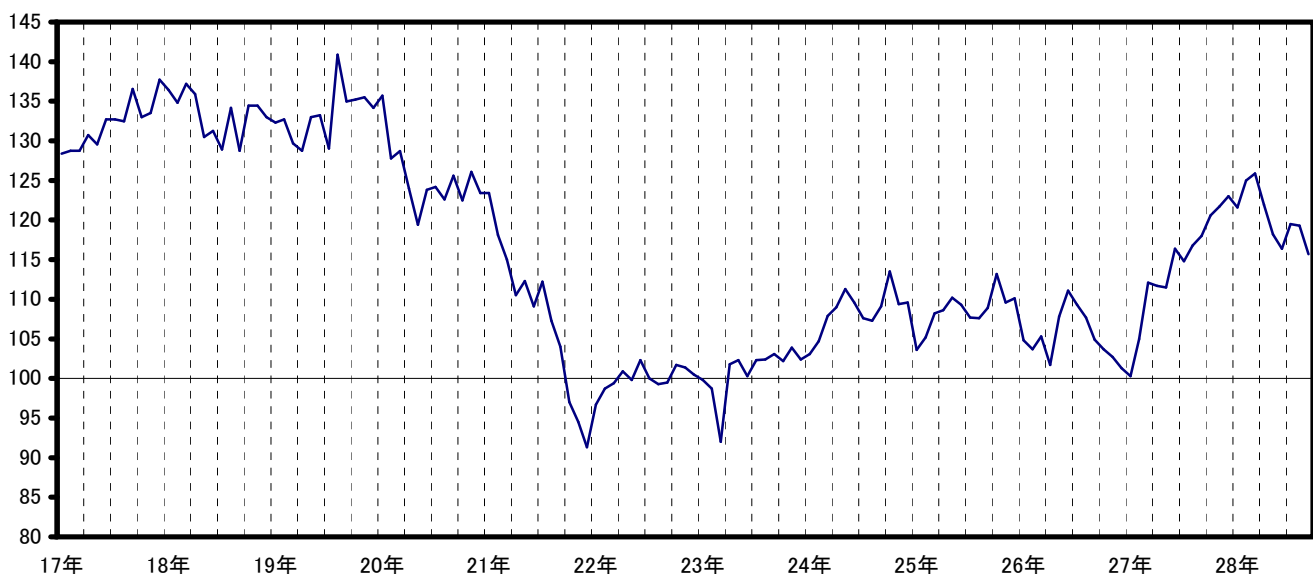
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課





# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**10月 = 1.39倍**

\*前月比（季節調整値）：0.03ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

#### <概 況>

10月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.39倍となり、前月を0.03ポイント上回った。また、6か月連続で全国値を下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比7.9%増）は9か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業（前年同月比39.2%減）が12か月連続、運輸業・郵便業（同3.7%減）が4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、建設業（同1.9%増）が9か月連続、製造業（同20.9%増）が12か月連続、卸売・小売業（同19.0%増）が2か月ぶり、医療・福祉（同13.5%増）が2か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同12.9%増）が8か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

（単位：倍）

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
県	1.27	1.36	1.35	1.34	1.36	1.34	1.36	1.39
全 国	1.30	1.34	1.36	1.37	1.37	1.37	1.38	1.40

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
建 設 業	11.0	5.1	6.3	5.1	3.4	6.0	8.7	1.9
製 造 業	11.0	9.2	8.9	6.6	2.8	16.7	27.5	20.9
情 報 通 信 業	▲ 17.9	▲ 32.0	▲ 40.3	▲ 14.8	▲ 12.5	▲ 52.6	▲ 28.7	▲ 39.2
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 0.6	▲ 5.2	12.6	▲ 5.9	7.6	3.9	2.4	▲ 3.7
卸 売 業 ・ 小 売 業	28.0	12.0	64.3	6.6	11.5	57.1	▲ 10.9	19.0
医 療 ・ 福 祉	▲ 1.9	5.2	▲ 3.8	▲ 0.5	7.2	▲ 3.9	1.6	13.5
サービス業（他に分類されないもの）	11.4	20.0	15.8	13.0	3.0	29.9	2.2	12.9
合 計	7.9	5.6	9.1	2.4	3.7	11.0	4.2	7.9

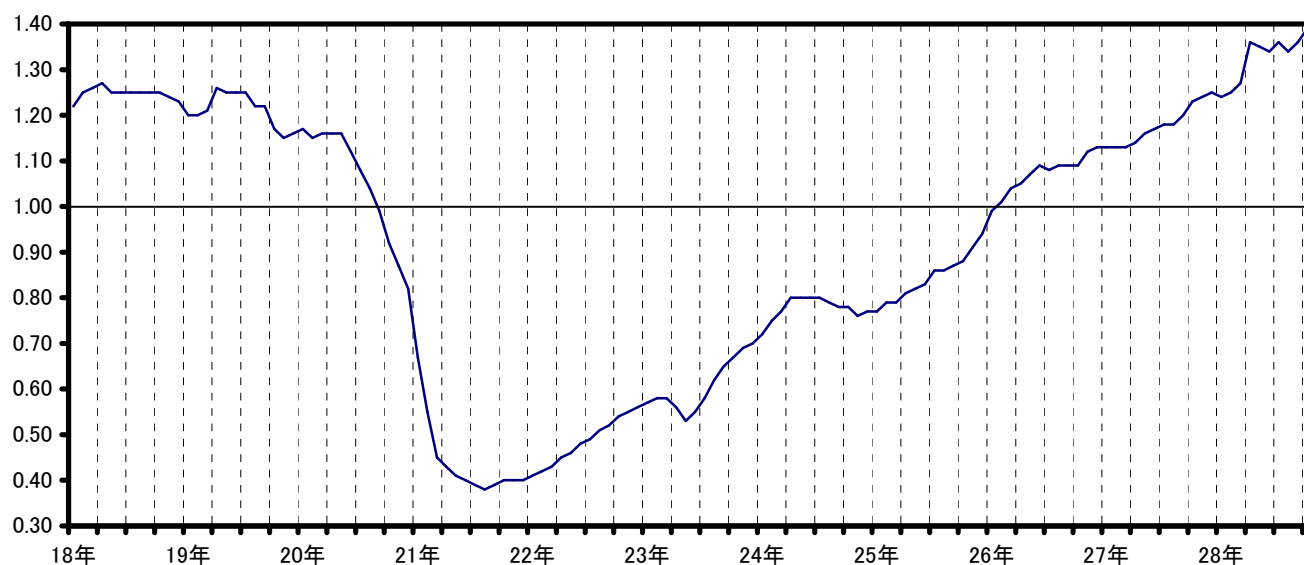
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

10月 = 12,170人

\*前月比: 4.1%減

\*前年同月比: 11.5%減

<概況>

10月の雇用保険受給者実人員は12,170人で、前月比は4.1%減と2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は11.5%減と39か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は3.0%で、前月と同水準となった。

静岡県(平成28年7~9月)の完全失業率は2.4%で、前期(28年4~6月)から0.2ポイント改善した。

<最近の動き>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
実人員(人)	11,671	11,113	11,955	12,519	12,580	13,302	12,696	12,170
前月比(%)	▲3.1	▲4.8	7.6	4.7	0.5	5.7	▲4.6	▲4.1
前年同月比(%)	▲9.8	▲12.8	▲13.2	▲14.0	▲15.9	▲10.2	▲12.7	▲11.5
(参考)全国前年同月比(%)	▲6.0	▲8.9	▲5.5	▲7.5	▲10.5	▲3.7	▲8.0	▲9.3

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
完全失業率(全国)(%)	3.2	3.2	3.2	3.1	3.0	3.1	3.0	3.0

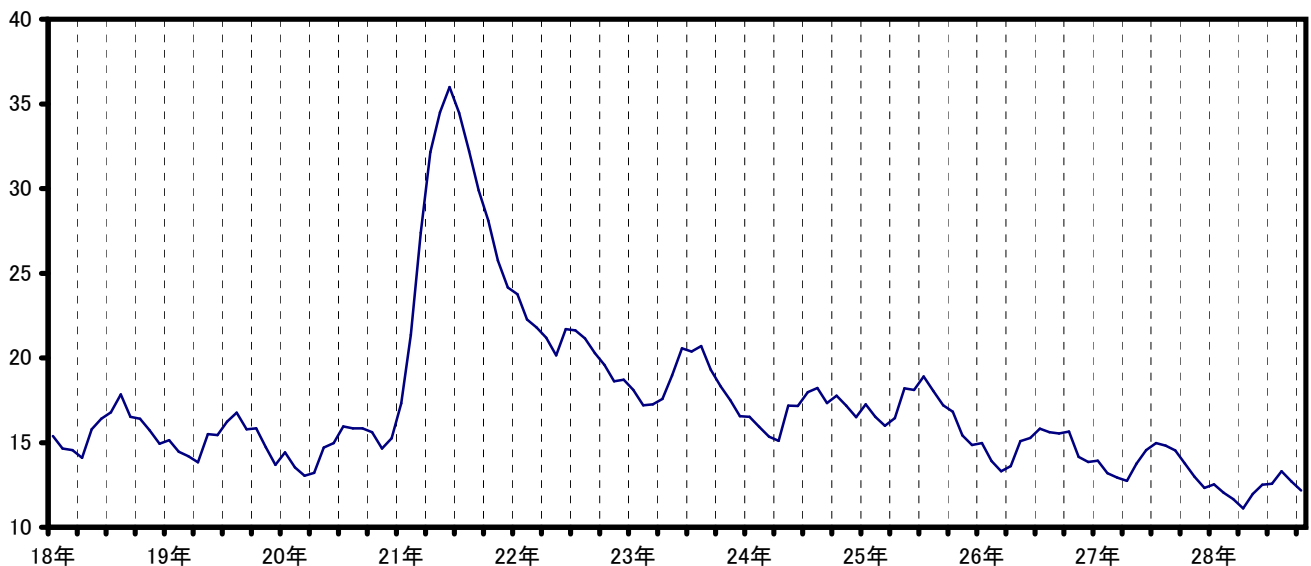
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



### (3) 所定外労働時間指数

9月 = 111.6

\*前月比(季節調整済指数): 5.4%増

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 1.4%増

#### <概況>

9月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は111.6(季節調整済指数)で、前月比5.4%増となった。また、前年同月比(原指数)は1.4%増となり、2か月ぶりに前年を上回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比13.6%減)が2か月ぶり、卸売業・小売業(同29.6%減)が3か月連続、その他のサービス業(同7.2%減)が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、運輸業・郵便業(同3.2%増)、医療・福祉(同9.1%増)がいずれも2か月ぶりに前年実績を上回った。建設業、製造業はいずれも前年と同水準となった。

#### <最近の動き>

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指数	111.5	107.1	112.5	115.5	114.8	112.8	105.9	111.6
前月比(%)	2.7	▲3.9	5.0	2.7	▲0.6	▲1.7	▲6.1	5.4
前年同月比(%)	0.0	▲2.0	5.5	9.9	7.2	5.9	▲0.8	1.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.6	▲0.7	▲0.7	▲2.4	▲0.8	▲1.6	▲2.5	▲1.6

\*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
建設業	▲31.5	▲33.9	▲37.5	▲13.5	▲0.6	13.7	▲9.7	0.0
製造業	▲3.9	▲7.0	3.8	1.8	▲2.2	2.2	▲1.1	0.0
情報通信業	▲7.8	▲9.1	5.4	4.9	1.1	▲9.1	1.3	▲13.6
運輸業・郵便業	▲1.6	▲9.9	1.3	2.1	▲4.3	2.9	▲2.1	3.2
卸売業・小売業	▲11.0	11.4	0.0	15.5	0.0	▲26.8	▲17.6	▲29.6
医療・福祉	▲13.9	6.9	14.9	9.9	20.3	4.3	▲4.4	9.1
その他のサービス業	6.4	▲1.6	▲7.7	6.8	8.6	3.2	13.2	▲7.2
調査産業計	0.0	▲2.0	5.5	9.9	7.2	5.9	▲0.8	1.4

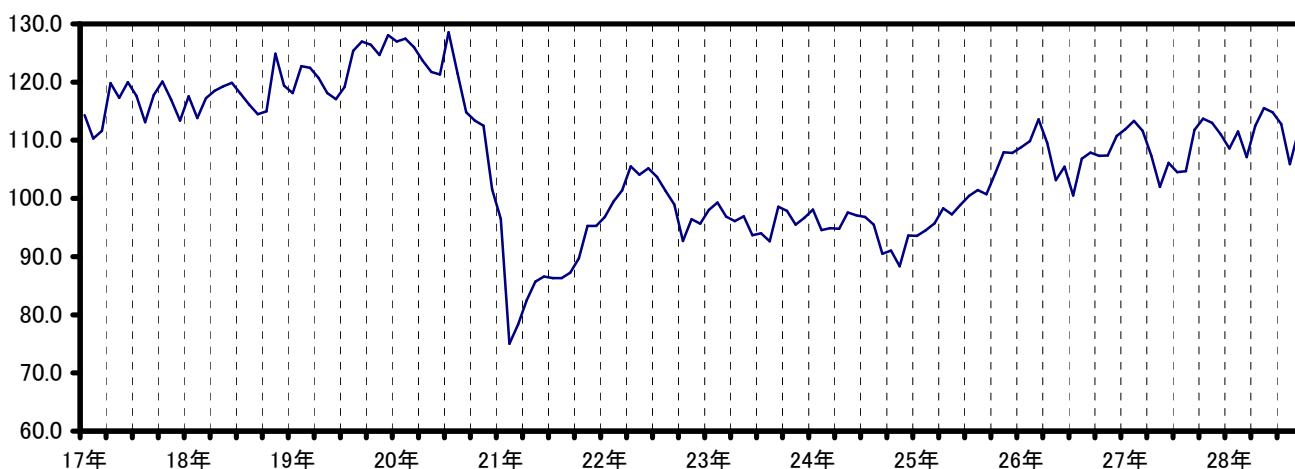
\*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

11月 = 99.1

(平成22年=100)

\*前月比: 0.4%上昇

\*前年同月比: 2.2%下落

#### <概況>

11月の国内企業物価指数は99.1となり、前月比は0.4%の上昇となった。また、前年同月比は2.2%の下落となった。

#### <最近の動き>

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
国内企業物価指数	99.2	99.3	99.2	99.2	98.9	98.8	98.7	99.1
前月比 (%)	▲ 0.4	0.1	▲ 0.1	0.0	▲ 0.3	0.0	▲ 0.1	0.4
前年同月比 (%)	▲ 4.2	▲ 4.3	▲ 4.2	▲ 3.9	▲ 3.6	▲ 3.2	▲ 2.7	▲ 2.2

\*平成22年=100

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

10月 = 136,468億円

(銀行、信用金庫)

\*前月比: 1.0%減

\*前年同月比: 2.1%増

#### <概況>

10月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は136,468億円で、前月比は1.0%の減少となり、前年同月比は2.1%の増加となった。

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
貸出残高(億円)	138,097	135,831	135,574	136,065	136,020	135,981	137,793	136,468
前月比 (%)	1.8	▲ 1.6	▲ 0.2	0.4	0.0	0.0	1.3	▲ 1.0
前年同月比 (%)	2.5	2.3	2.2	2.5	2.7	2.7	2.2	2.1

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

10月 = 2.152%

(県内地銀4行総平均)

\*前月差: 0.008ポイント増

\*前年同月差: 0.014ポイント減

#### <概況>

10月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.152%で、前月から0.008ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.014ポイントのマイナスとなった。

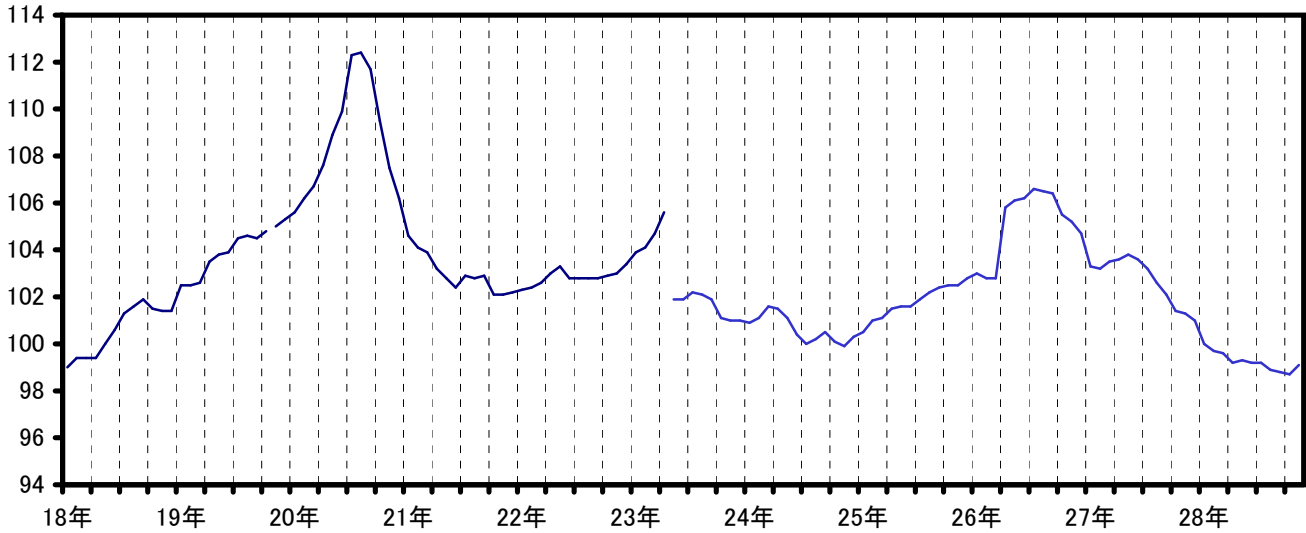
	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
貸出約定金利 (%)	2.145	2.156	2.152	2.153	2.155	2.154	2.144	2.152
前月差(ポイント)	▲ 0.019	0.011	▲ 0.004	0.001	0.002	▲ 0.001	▲ 0.010	0.008
前年同月差(ポイント)	0.021	0.019	0.015	0.000	▲ 0.004	▲ 0.008	▲ 0.004	▲ 0.014

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

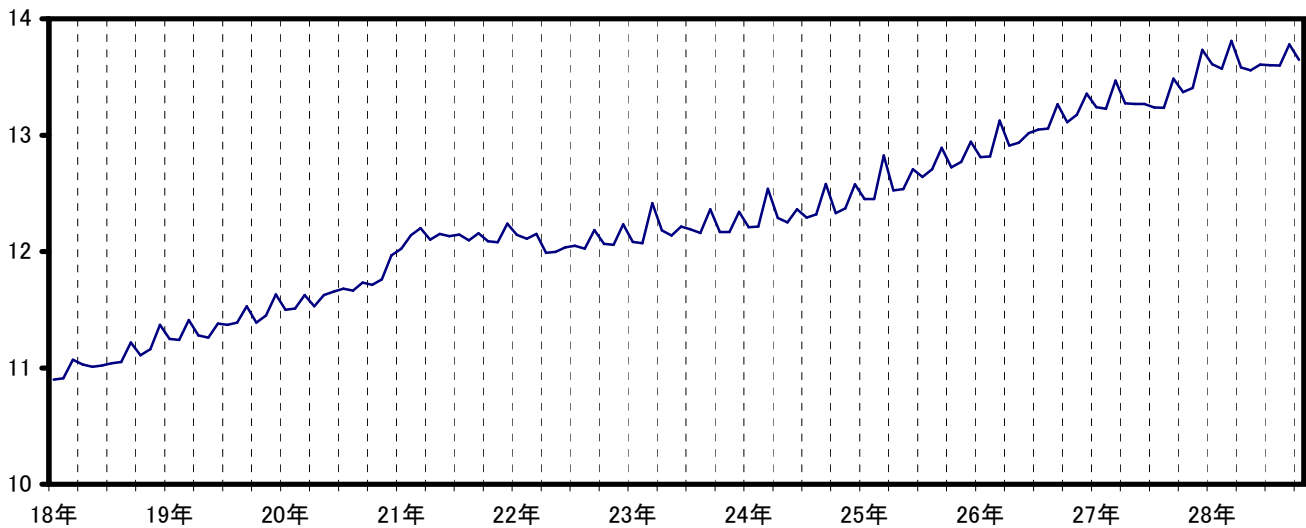
国内企業物価指数(平成22年=100)

<資料>日本銀行



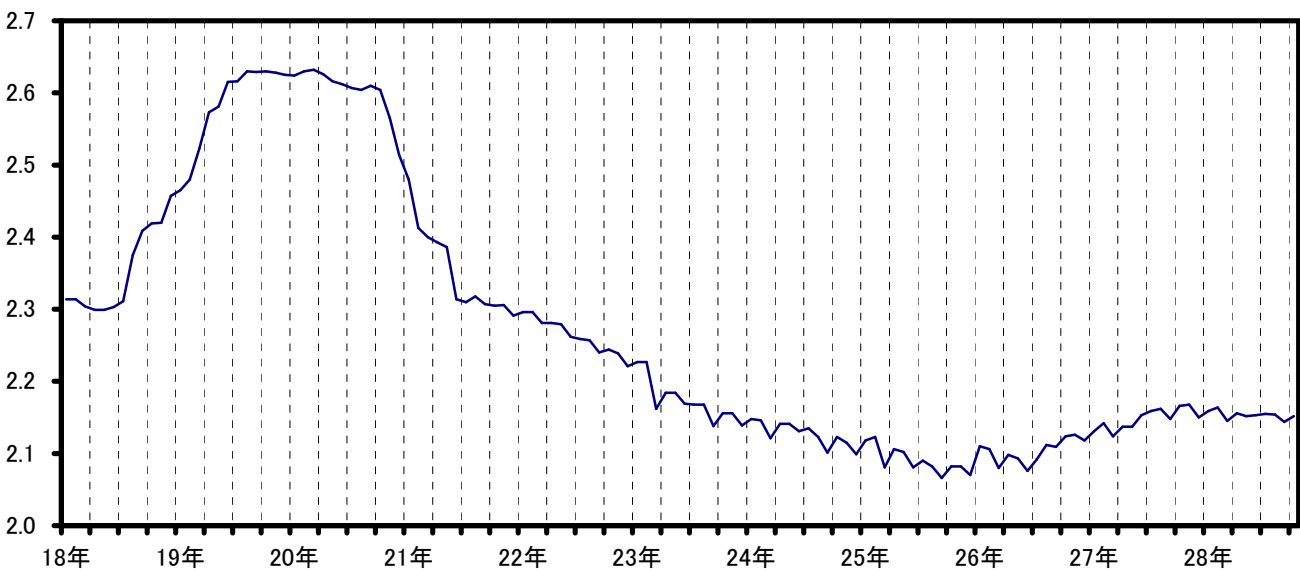
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****10月 = 17,045百万円**

\*前年同月比： 14.2%減

## &lt;概況&gt;

10月の保証承諾は、金額が17,045百万円（前年同月比 14.2%減）と前年を下回り、件数は1,781件（同 16.9%減）と19か月連続で前年実績を下回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	28年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
保証金額（百万円）	24,978	14,208	17,302	23,147	20,714	22,578	23,295	17,045
前年同月比（%）	▲ 19.1	▲ 15.9	0.0	▲ 3.5	▲ 5.9	10.9	▲ 10.1	▲ 14.2
保証件数（件）	2,621	1,600	1,835	2,324	2,009	2,172	2,319	1,781
前年同月比（%）	▲ 18.5	▲ 13.8	▲ 6.2	▲ 11.9	▲ 15.1	▲ 2.7	▲ 12.0	▲ 16.9

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****11月 = 108.18円/ドル**

\*前月差： 4.36円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

\*前年同月差： 14.36円高

## &lt;概況&gt;

11月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は108.18円で、前月と比べて4.36円の円安となり、3か月連続の円安となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
平均相場（円）	109.88	109.15	105.49	103.90	101.27	102.04	103.82	108.18
前月差（円）	▲ 3.19	▲ 0.73	▲ 3.66	▲ 1.59	▲ 2.63	0.77	1.78	4.36
前年同月差（円）	▲ 9.67	▲ 11.59	▲ 18.26	▲ 19.33	▲ 21.96	▲ 18.18	▲ 16.24	▲ 14.36

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****11月 = 19件**

\*前年同月比： 20.8%減

## &lt;概況&gt;

11月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は19件（前年同月比 20.8%減）、負債総額は2,049百万円（同 61.8%減）となり、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が19件と全体の100.0%を占め、228か月連続して50%以上となっている。

## &lt;最近の動き&gt;

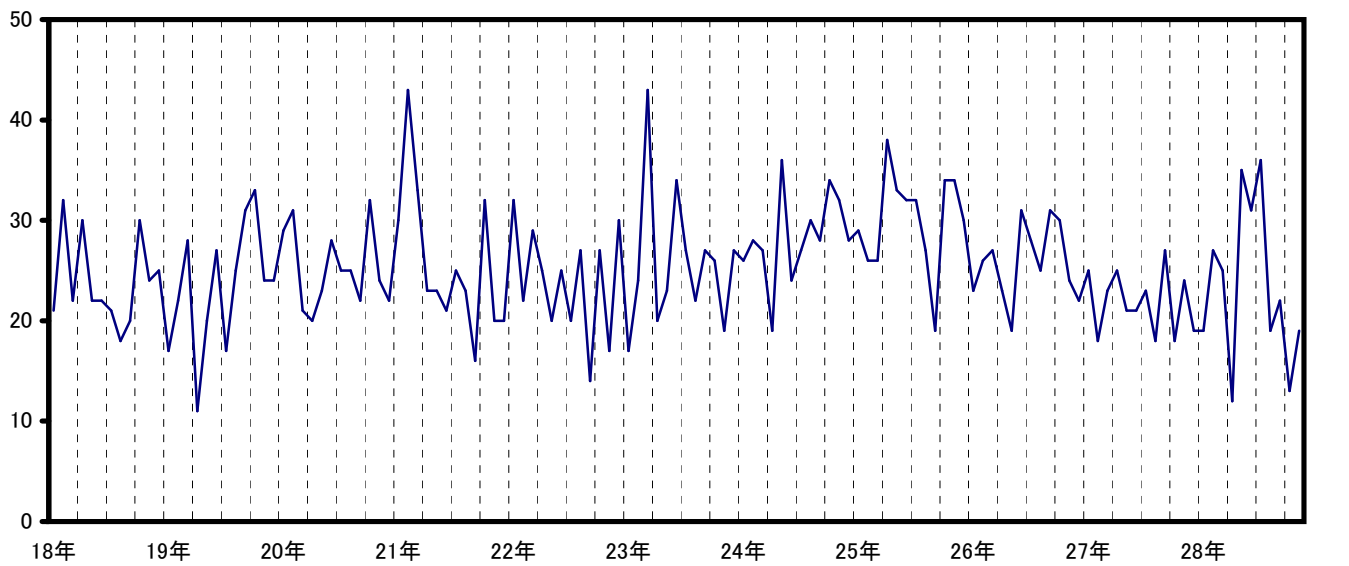
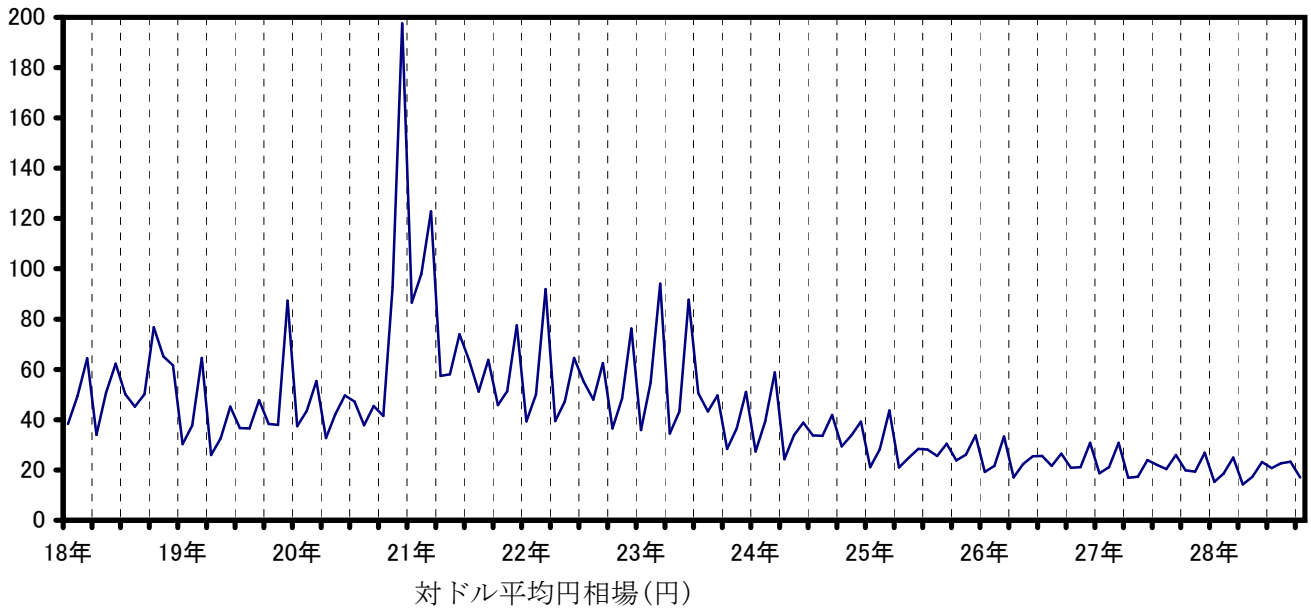
	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
倒産件数（件）	12	35	31	36	19	22	13	19
前年同月比（%）	▲ 52.0	66.6	47.6	56.5	5.5	▲ 18.5	▲ 27.7	▲ 20.8
うち不況型倒産件数（件）	11	33	27	33	18	19	12	19
負債総額（百万円）	1,704	8,797	5,095	8,498	2,065	2,315	1,631	2,049
前年同月比（%）	▲ 57.4	205.6	▲ 40.7	113.2	8.7	▲ 30.7	▲ 54.5	▲ 61.8

&lt;資料&gt;（株）東京商工リサーチ静岡支社

<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



### Ⅲ 平成28年10月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>10月の国内二輪車生産台数は、57,208台（前年同月比 21.7%増）で、6か月ぶりに前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、13,558台（同 104.5%増）と2か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,331台（同 46.0%増）、軽二輪車（126cc～250cc）は、9,450台（同 23.2%増）、小型二輪車（251cc以上）は、30,869台（同 1.4%増）と全て前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは34,455台（同 0.6%増）で、13か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>輸出向けも、35,931台（同 15.8%増）で、5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>10月の自動車国内生産台数は781,165台（前年同月比 3.9%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。また、輸出は423,480台（同 1.7%増）となり、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが2か月連続、乗用車が3か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電 気 機 械	<p>10月の冷蔵庫の国内出荷額は272億7,500万円（前年同月比 4.1%減）、国内出荷台数は237千台（同 3.6%減）となり、ともに2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>10月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは336千台（同 14.7%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。業務用は58千台（同 0.7%減）で、7か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>9月の携帯電話と公衆用PHSを合わせた携帯電話の国内出荷台数は、1,213千台（同 18.7%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、夏モデルの出荷が堅調だったため、648千台（同 40.0%増）と5か月ぶりに前年を上回った。単月のスマートフォン比率は53.4%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生 産 用 機 械	<p>10月の工作機械の受注総額は、938億8,400万円（前年同月比 8.9%減）と15か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は525億2,900万円（同 10.4%減）で、17か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが186億2,600万円（同 12.2%減）と、17か月連続で前年実績を下回った。内需は413億5,500万円（同 7.0%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、イギリスのEU離脱問題以降、円高・株安傾向など中小企業において大変難しい舵取りを強いられているという声や自動車業界からの受注条件が厳しさを増し、成約に至らないケースが増加しており、先行き不透明の状況が続くという声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>



業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>10月の県内楽器メーカーの販売金額は、51億6,400万円（前年同月比 11.8%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが26億900万円（同 21.2%減）で、国内向けが25億5,500万円（同 0.4%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,024台（同 1.5%減）であった。機種別では、アップライトピアノが2,066台（同 5.1%増）、グランドピアノが958台（同 13.3%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,916台（同 11.2%減）、国内向けが1,388台（同 13.1%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>10月の紙・板紙の国内出荷高は、2,138千トン（前年同月比 2.8%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は、紙は1,161千トン（同 3.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。板紙は977千トン（同 2.0%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、644千トン（同 2.8%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、157千トン（同 0.3%減）と、19か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>10月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,026千箱（前年同月比 5.1%増）と、8か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は751千箱（同 0.4%増）と3か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は550千箱（同 0.8%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は275千箱（同 20.8%増）と、8か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,562千箱（同 3.9%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>10月の広幅織物の県内生産は、1,522千㎡（前年同月比 0.5%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,479千㎡（同 0.2%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、43千㎡（同 9.7%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、31千㎡（同 21.4%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>10月の全国百貨店での家具販売額は、54億2,080万円（前年同月比 9.0%減）と8か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、520億3,588万円（同 0.3%増）と2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業種	産業動向
小売業	<p>10月の県内百貨店の売上高は、前年に比べて、日曜日が一日多かったものの高めに推移した平均気温が影響し、対前年比 2.7%減となった。</p> <p>商品別では、化粧品が同 15.4%増と好調を継続したが、主力の衣料品を中心に全体的に売上を落とす結果となった。</p> <p>東部地域の食品スーパーへの聞き取りでは、平年を上回る気温のために、アイスクリームや飲料などの夏物商材がよく売れていた。中部地域の専門店への聞き取りでは、秋冬物の衣料品が好調であり、売上をけん引していた。</p> <p>10月の県内商店街では、郊外の会場で小規模な商店街を楽しんでもらう「出張商店街」や、市長選挙に投票した若者が商店で割引を受けることができる「センキョ割」などが実施された。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観光	<p>平成28年10月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約43万人で、前年同月比 6.2%減となった。今年も、例年に比べ曇りや雨の日が多く、上旬の3連休も雨が降るなど天候に恵まれなかったことにより、入込客が減少した。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約71万台となっており、前年同月に比べて2.7%増となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

## = IVデータからみた県内主要産業 =

### <二輪車>

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
完成車生産台数(台)	22,973	22,614	20,913	16,802	16,487	16,815	13,421	13,818	20,095
前年同月比(%)	8.5	4.8	35.0	22.5	9.7	▲ 10.4	▲ 11.1	▲ 26.4	2.5
KD輸出額(百万円)	719	706	646	535	760	677	762	672	577
前年同月比(%)	▲ 28.8	▲ 31.5	▲ 36.7	▲ 42.9	▲ 7.6	▲ 25.9	7.7	▲ 15.4	▲ 10.2

### <楽器>

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
生産総額(百万円)	3,607	3,821	3,837	3,376	4,157	3,817	3,309	3,851	3,696
前年同月比(%)	5.5	4.4	▲ 2.8	▲ 9.3	▲ 2.5	▲ 10.3	1.7	4.2	▲ 10.7

### <缶詰>

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
食缶生産高(千ケース)	849	1,015	1,023	1,019	1,112	1,031	983	1,069	1,026
前年同月比(%)	▲ 4.5	8.6	11.0	15.0	5.9	2.5	14.9	18.0	5.1
うち水産缶詰(%)	▲ 0.9	▲ 1.4	0.6	3.7	0.4	▲ 0.7	10.7	9.7	0.4
農畜産缶詰(%)	▲ 13.0	40.9	45.5	55.5	23.1	12.1	30.6	51.7	20.8
飲料缶生産高(千ケース)	5,128	7,176	7,924	8,363	7,714	8,479	7,428	7,146	6,562
前年同月比(%)	▲ 1.4	2.9	0.4	6.9	▲ 12.0	▲ 1.8	3.6	0.2	3.9

### <繊維>

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
広幅織物(千㎡)	1,447	1,462	1,511	1,203	1,196	1,133	1,135	1,458	1,522
前年同月比(%)	▲ 4.1	▲ 3.7	▲ 0.5	▲ 1.5	▲ 2.3	▲ 1.4	3.4	8.2	0.5
小幅織物(千㎡)	37	37	37	33	30	28	26	30	31
前年同月比(%)	▲ 4.0	▲ 1.6	▲ 5.1	▲ 16.4	▲ 20.1	▲ 22.3	▲ 20.8	▲ 24.7	▲ 21.4

### <観光>

	28年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
観光施設(10施設)入込 (千人)	261	500	510	654	330	363	552	369	431
前年同月比(%)	7.0	6.9	15.3	▲ 3.0	▲ 3.9	19.4	1.2	▲ 22.8	▲ 6.2
有料道路(5路線)通行量 (千台)	682	760	684	732	649	755	862	677	711
前年同月比(%)	12.5	0.0	5.2	2.1	4.1	6.5	1.8	▲ 2.2	2.7

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・百貨店販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・専門量販店等販売額		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・自動車新規登録台数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・新設住宅着工戸数			
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

### 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

### 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

**静岡県月例経済報告**  
平成28年12月号 通巻488号

発行 静岡県経済産業部  
平成28年12月

編集 経済産業部管理局政策監  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6  
TEL 054-221-2635  
FAX 054-221-3217  
E-mail [keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)  
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>